

# Navi

- ① お家とお店のレンタル業 — 不動産賃貸管理の仕事 —
- ② 自分の可能性を信じて — 学習教材の執筆校正の仕事 —
- ③ 看護師資格は強い — 看護師の仕事 —

Vol.  
**191**

2025.2

# ① お家とお店のレンタル業

## — 不動産賃貸管理の仕事 —

### 清教学園保護者(不動産賃貸管理業)

清教学園のみなさんこんにちは。今回は、不動産賃貸管理業というお仕事を紹介いたします。

不動産賃貸管理といっても幅広い意味がありますが、私の会社ではマンションやアパートなどの住宅や、お店や事務所といったテナントを、レンタルするお仕事をしております。日常業務としては、建物の掃除や修繕、レンタル料(お家賃)の集金、入居者の募集、退去の立ち合い、空き室のリフォームなどがあります。

大きな管理会社では、多くの不動産オーナー(土地建物の所有者)から、たくさんの物件をお預かりして管理をしますが、私の会社の場合、オーナーは私の家族や親戚だけですので、建物の数も少なく、こじんまりした規模です。会社のスタッフも家族だけです。大きな修理は、親しくしている大工さんをお願いしますが、日頃の掃除や、ちょっとした修繕は、私が自分でしています。ビルの階段やトイレ掃除もしていますので、ビルの利用者の皆さんは、私を掃除のおじさんだと思っています。お客様に挨拶すると、たいていの方は、にこやかに挨拶を返してくれますが、なかにはぶっきらぼうな人もおられます。掃除のおじさんに態度の悪い人とは、友達になりたくないなあと思います。

こういうお仕事は、昔は「大家さん」と呼ばれていました。「家賃が払えなかったら、でていってもらおうよ!」という意地悪な大家さんが「ラ・ボエーム」などの昔のオペラに出てきますが、今の時代、そんな強気な大家さんはいません。落語に出てくるような「大家は親も同然、店子は子も同然」といった人情味のある話も、今の時代は少なくなりました。入居までに、仲介会社や保証会社など多くの会社を通過しますので、一度も顔を合わさないお客さんもいます。

日本人のお客様とは冷たい関係ですが、外国人の方が世話が焼けて、関りが深かったりもします。最近では、ネパールの人がカレー屋さんを始めて、私も毎週金曜日はカレーの日です。ミャンマーからは三人娘が介護の会社にやとわれて、私のところのアパートで暮らし始めました。日本のことがよくわからず、近所に住む私の母がなにかと世話を焼いています。

この夏は、一人の子が熱中症で倒れて、病院ま

で一緒に行きました。

不動産管理に興味ができましたか?

大きな管理会社に勤めるには、就職希望の面接に行けば採用してもらえると思いますが、自分が大家さんになるには、レンタル用の住宅やテナントが必要です。始めるためには、だいぶお金がかかります。

私の友達には、不動産管理会社に長年勤めて仕事を覚え、お金も貯め、自分が大家さんになって、いろいろなお店を好きなように作って楽しんでいる人がいます。

私の場合は、私の親の親の親が、桶樽製造業で手広く稼いだお金で、長屋住宅をたくさん建てたのが始まりです。本業の桶樽工場は、アメリカ軍の爆撃で燃えてなくなってしまいましたが、長屋がいくつか残りました。私のおじいさんはフィリピンで戦死しましたが、おばあさんはお家賃でなんとか生活できたようです。嫁入りしてきた私の母が、この仕事が性に合っていたのか、新たに住宅やお店を買い足していきました。私は最初から家の仕事をしていただけではなくて、学校卒業後は中古車を売ったり、介護の会社をしたりしていました。それが失敗し、家の仕事を継いで、今に至ります。

古い建物が多いので、私の代での一番の大仕事は建物の建替えになります。築50年の古いマンションがあり、私の会社は400軒のうち2軒をもっていただけですが、私が建替え委員長に任命されました。3年かけて賛成反対バラバラな皆さんの意見をまとめ、今は古い建物を取り壊し中です。新しいマンションのできあがりを楽しみです。

不動産管理の仕事は、毎日のスケジュールがギチギチということはないので、自分の時間を作りやすいのがいいところです。マンション自治会の役員や、社長さん達が集まる勉強会のお世話役や、お年寄りのための太極拳教室の先生など、ボランティア活動をいろいろしています。そちらはお金儲けにはなりません、けっこう忙しく楽しい毎日です。



## ② 自分の可能性を信じて — 学習教材の執筆校正の仕事 — 岡本訓子(教材執筆、カフェ経営、カメラマン)

出版社から出ている小説や評論は、出版社で作っているわけではなく、それを書いている小説家や評論家がいるのはご存知ですね。それでは、皆さんが使っている問題集や参考書は、誰が作っていると思いますか。教材作成会社というのがありますが、内部に勤務しているのは編集者で、小説と同じように、別に教材を書く人がいるのです。その教材執筆というのが、私の仕事です。

もともとまったく違う仕事(ファッションデザイナー)をしていたのですが、二人目を出産し、残業や長期出張の多いデザイナーを続けていくのが難しくなりました。そのときに考えたのが、大学で学んだ児童心理学や、アルバイトの塾講師で教材を作っていた経験を活かし、この仕事に就くことでした。

私は今、フリーランスで国語の教材執筆者をしています。小学生の漢字ドリルから、高校生の共通テスト対策問題集まで。守秘義務があるので詳しいことは書けないのですが、生徒の一生に関わるような、とても重要な案件を引き受けることもあります。ときには数百ページある問題集を一人で引き受け、挿絵のイラストレーターや校正者も自分で手配し、最終納品まで責任を持つ、編集プロダクションの機能を果たすこともあります。

よく、「小説家でも自分の問題は解けない。国語はこじつけだ」ということが言われます。しかし、エッセイストの岸田奈美さんが次のように書いていました。「自分の文章を使ったテストを、自分はほとんど解けなかった。しかし、自分の担当編集者は完璧に解けたし、その理由も解説と一致していた。」小説家が野生の勘(?)で書いていたとしても、そこには必ず意図があり、こう読ませたいという企みがあります。それをあぶり出し、言語化するのが自分の仕事だと思っています。

逆にとっても難しいのが、誤答選択肢を作ることです。「このようにミスリードするのではないか」という可能性を考え、巧みに導き、しかし絶対に誤答であるという「穴」を作る。正答選択肢の何倍も時間がかかる作業です。クリエイティビティがないと思われがちなの仕事ですが、ミステリーを書いているような楽しさがあり、良い選択肢ができた(うまく騙せた)ときには、にんまりします。この仕事を始めてから、性格が悪くなった

かもしれません。そういう部分も含め、私はそんな自分の仕事が、気に入っています。

20年間、フリーランスとして仕事をしながら3人の子育てをしてきました。自由に自分の時間が取れ、気ままに働けると思われがちなの在宅フリーランスの仕事ですが、逆です。常にプライベートを侵食し、締め切りに追われるのがフリーランスです。3人目の出産の時は、陣痛が始まって合間で仕事をし、出産直後から病室にスタッフをよんでその続きをしていました。自分の仕事を「賽の河原で石を積んでいるようだ」とも思います。一つの仕事が終われば次の仕事が始まり、どれも「100%完璧だ」と思えるものではない。常に勉強と、試行錯誤の繰り返しです。

それでも、30歳を過ぎてからまったく違う方向に舵を切り、正社員のとき以上の収入を得ながら子育てができたのは、学生時代に得意だった国語が活かされたからだと思います。学生の時に勉強していたことが、卒業後20年経って、当時は想定もしていなかったような場面で生きることもあります。「何のために勉強するのだろう」とか四の五の言わずに、一生懸命勉強してください!勉強は、最もローリスクでハイリターンな自己投資です。必ず、あなたの力になります。

30代で教材執筆者になった私は、それを続けながら40代でカフェを3店舗オープンさせ、50代で生前遺影を撮るスタジオの事業を始めました。今や、3足のわらじです。一度きりの人生だから、やりたいと思ったことは躊躇なくやる。やるからには、絶対成功させるつもりで、全力でやり切る。皆さんも、やる前から「自分には無理だ」と諦めないで。まず一步を踏み出してください。その一步は、必ずどこかに繋がっています。



## ③ 看護師資格は強い — 看護師の仕事 — 清教学園保護者(看護師)

私もみなさんと同じく清教学園に通っていました。清教学園を卒業後、看護専門学校へ進学しました。そして、現在看護師として働いています。大人になって、社会へ出てから強く感じることもあります。それは「看護師の資格まじで強い」って事です。その理由について説明していきます。

まず看護師の仕事内容についてですが、ドラマで見るとカッコいい部分もあります。しかし、そうじゃない部分もたくさんあります。

例えば、認知症の患者さんの対応やおむつ交換の多さ、病棟では常に人手不足でバタバタ休む暇もなかったり、怖い先輩がいたりいなかったり…。患者さんに侵襲的な処置をする場合も多いです。採血や点滴のルートキープ、痰を取るための吸引など、痛みを伴う処置をする際は心が痛くなる事もあります。患者さんの命を預かっている怖さもある分、責任感や達成感を感じられる場面もたくさんあります。私は現在訪問看護師として働いているのですが、高齢の方の全身状態を観察し、その方にとって必要なケアを提供する毎日です。高齢の方とのコミュニケーションはとても刺激的で自分自身の人生の学びとなっています。忙しくてしんどい時もありますが、それ以上に得る事が非常に多い職業だと思います。

看護師の資格が強いと感じる理由についてはいくつかあります。

1つ目は、どこの病院・施設・老人ホームも人手不足のため、いつでもどこでも働けます。看護師は離職率が高いと有名なのですが、職場の方針が気に入らなかったり、苦手な人がいる場合我慢せずすぐ辞めます。辞めても次があるので、就職に困る事がほぼないのが良いところです。病む前に逃げればOK。

2つ目に「私看護師です」って言うだけで、無条件に信頼されます。家のローンを組む時も看護師って言うだけで問題なく審査を通過しました。また、母親になって

ママ友からも謎の信頼を得ていました。

3つ目は、女性の中では比較的稼げる職業だという事です。働く場所にもよりますが、日本の平均年収よりは確実に多く得られます。ただ、あまり昇給しないのが落とし穴です。

4つ目は、家族や身近な人に何かあった時にどう対処すれば良いのか正しい知識があるので、守れるという点です。この知識は子育てはもちろん、家族の急病時にも役に立った経験があります。生きていく上で強いと感じる場面が多いのが看護師の魅力です。

では、看護師になるにはどうすれば良いか紹介します。ルートは2つ。

看護専門学校に行くルートと大学の看護科・看護学科へ行くルートがあります。私は病院付属の看護学校へ3年間行き、その病院へ就職しました。メリットは学費が安い(当時50万円/年)事、就活しなくても就職先がほぼ決まっている事、臨床実習が多く実践的な学びが多い事などがあります。

大学の看護学科へ進むメリットは、保健師や助産師の資格も取得する事が出来る事、キャンパスライフを過ごせる事、就職後の給料が少し(1~2万円/月ほど)高い事などがあります。

どちらもメリットデメリットがあると思うので、あなたがどのように学び・進んでいきたいかを考えてみてくださいね。ちなみに私が高校生からやり直せるなら、大学へ行って保健師と助産師の資格も取得していたと思います。なぜなら、働く幅や分野がさらに増えるからです。

看護師仲間を見ていて思う事があります。それは、「すぐ転職活動するけど、辞めても別の場所でまた看護師やってる人しかいない。」という事です。忙しくて、嫌になって辞めたはずが、看護師から離れられないんですよ。みんな文句言いながらもきっちりと働いてる真面目な人ばかり。真剣に患者さんの事を考えるからこそ、衝突も葛藤も楽しさも難しさも色々あります。それくらい、口では上手く表現できない魅力のある看護師という職業。興味がある方は調べてみてくださいね。

**皆様のご職業・仕事内容を  
紹介して下さい!!!**

執筆して頂ける方がいましたら、右記にご一報を下さい。

お問  
合せ

〒586-8585 河内長野市末広町 623  
清教学園中等学校内グリーンルーム(PTA室)  
TEL・FAX 0721-62-4406  
✉ pta@seikyo.ed.jp



清教生徒のきみたちへ  
—さまざまな職業との出会いを—

発行：清教学園PTA